

漁業経営を支える「ぎよさい」

令和という新しい時代を迎え、日本全体が祝賀ムードに包まれています。その一方で、台風や赤潮など、全国各地で多くの自然災害が発生しています。被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

近年は今年に限らず、西日本豪雨（平成30年）、九州北部豪雨（平成29年）といった大きな災害が頻発しており、漁業者は毎年自然災害の脅威にさらされています。一次産業である漁業は、他の産業と比較して特に自然災害の影響を受けやすく、その被害を漁業者個人の努力だけで防ぐことは困難です。ぎよさいは漁業経営の安定のための施策として、漁業者間の助け合いの精神に基づき仕組みられている漁業経営を支える制度です。

皆様のご協力により、漁業共済の加入は年々増加しており、平成30年度の全国の金額加入率は漁獲、養殖、特定養殖共済（3共済）で83%（平成31年3月末時点、共済団体調べ）となっています。令和元年度は3共済の目標加入率を85%に掲げ、現在も未加入の漁業者や補償内容が十分でない漁業者を対象に加入推進に取り組んでいます。

共済団体では、ぎよさい制度が漁業経営の安定に貢献することができるよう取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いします。

令和元年度の加入実績（10月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	今年度	前年度	前年	今年度	前年度	前年
漁 獲 共 済	189,816	184,738	103%	11,263	9,532	118%
養 殖 共 済	193,214	178,700	108%	7,092	6,649	107%
特 定 養 殖 共 済	89,089	84,503	105%	3,174	3,055	104%
漁 業 施 設 共 済	15,485	15,069	103%			
地 域 共 済	9,375	7,814	120%			
合 計	496,979	470,825	106%	21,530	19,235	112%